# 第１回　宮城舞台技術者協会 運営委員会　議事録

| 日時 | 2021 年　4 月　5 日 13 時 58 分 ～ 15 時 15 分 | 場所 | 株式会社東北共立　ラボ |
|---|---|---|---|
| 議題 | ・会則について<br>・部会の活動について | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 出席者 | 岸浪行雄 | 橋本徳郎 | 菊地孝 | 田嶋克彦 | 石井忍 |
| | 菅原玄哉 | 小宮芳紀 | 山品晃彦 | 関紀子 | 今野芳明 |
| | 伊藤幸夫（事務局） | 斎藤環江（事務局） | | | |
| | | | | 運営委員、事務局長、事務局 12名 | |
| 決定事項 | ■会則について、承認をいただいた。<br>■第２回運営委員会開催日：６月２１日（月曜日）14時～　（株）東北共立　にて | | | | |
| 会議内容 | ■会則について<br>岸浪代表より、3月の定例会の資料をもとに、組織内容等の再確認のための説明があり、それに伴い会則について提案があった。<br>○運営委員会、各部会等についての記載<br>○会員の種類、入退会、会費等<br>→承認された<br><br>■各部会の活動について<br>各部会の活動についてどのように進めていったら良いか、委員に意見を求めた。<br>・全体指針を作った方が活動がしやすいのではないか<br>・各部会の委員の携わる業務内容が大きく違うため、各部会ごとの活動提案が良いのではないか<br>・まずは会員の話を聞かないとなんとも言えない<br>→活動内容の大きい小さい等ではなく、何をやっていきたいか、会の継続性を持たせるような内容を、各部会毎に考える。<br>まずは、自分達の活動をしっかり明確にする。<br>→各部会を5月～6月上旬までに開催。開催日時は、部会長に委ねる。<br>→その後、２回目の運営委員会を開催（6月21日 月曜日 14時～ 東北共立にて）<br><br>※各部会を開催するにあたり、部会長に各委員の連絡先を配布<br>（氏名、電話番号、メールアドレス） | | | | |

# 宮城舞台技術者協会　　MSEA

会則

（名称）

第1条　　この会は、宮城舞台技術者協会（以下、宮舞協）と称する

（目的）

第２条　　宮舞協は、複雑多様化するエンターテイメント等に対応するため、会員が相互に協力し必要な舞台技術の情報収集・調査・研究・発表及び技術の個々の向上に努め、文化芸術の啓蒙、発展に寄与するとともに、我々舞台技術者の社会的地位向上を図ることを目的とする

（事業）

第３条　　宮舞協は、前条の目的を達成するために、次の事業を行うものとする。

1. 舞台等業務に関する講習会、研修会などの開催
2. 会員への情報提供
3. 関係各機関との連絡及び提携
4. 舞台技術検定、認定試験の実施に対する協力
5. その他、第２条の目的達成のための諸事業

（組織）

第４条　　宮舞協は、主として宮城県内で舞台技術業務を生業とする法人、団体及び個人をもって組織する

（会員の種類）

第５条　　宮舞協の会員は次の通りとする

1. 法人・団体会員
2. 個人会員
3. 賛助会員

（会員の資格）

第６条　　会員の資格は次の通りとする

1. 舞台関連業務を生業とする法人または団体
2. 技術業務を生業及び副業とする個人

（会員の入会）

第７条　　会員になろうとする者は、会員１名の紹介のもと、所定の入会申込書を提出し、運営委員会が決定するとする。

（会費）

第８条　　宮舞協の会費は次の通りとする

1. 会費

| | | 年会費 |
|---|---|---|
| 法人会員 | | 10,000 円 |
| 団体会員 | | 10,000 円 |
| 個人会員 | | 3,000 円 |
| 賛助会員 | | 30,000 円 |

2. 会費の納入は、２月末

（会員の権利）

第９条　　宮舞協の権利は、次の通りとする

1. 会の開催する諸事業に参加する事が出来る
2. 会報などの配布を受ける事が出来る
3. 総会において議決権の資格を有する（賛助会員は除く）

（会員の義務）

第 10 条　　宮舞協の会員は、会則、諸規定及び会議の議決に従う義務を負うものとする

（退会）

第 11 条　　会員は、あらかじめ会に通知した上で理事会の承認を受けて退会する事が出来る

（除名）

第 12 条　　宮舞協は次の各項の一に該当する会員を除名する事が出来る

1. 会費の未納（６ヵ月以内）
2. 会員としての義務に違反したとき
3. 会の名誉を傷つけ、又は会の目的に反する行為があったとき

立は理事の半数以上の出席とするが、委任状提出があった場合は出席と認めるものとする。

運営委員会を設け運営を行う。
運営委員会の構成は法人会員 5 名程度、個人会員 4 名程度、総会で選出された本会の代表理事、および事務局長の 15 名程度とする。
本会は各部会、および事務局からの提案された議題を審議決定する。
運営委員会の成立は運営委員の出席者数の過半数以上とする。

（部会）

第 18 条　宮舞協は技術及び各種事業に関する調査、研究、発表を行うため運営委員会の下に舞台部会、照明部会、音響部会、事業部会を設置するとともに、必要が生じた場合はそれぞれの部会内に専門班を設けることができる。
部会の長は本会の副代表理事が任にあたる。
副代表はそれぞれの部会の活動案を作成し運営委員会に提案するものとする。

（会計）

第 19 条　宮舞協の運営経費は、会費、特別会費などで支弁されるものとする。

第 20 条　定めのないものはその都度、理事会、運営委員会で協議決定するものとする。

（役員）

第 13 条　　宮舞協のすべての会員は理事、委員等の役員に就くものとする。

1. 代表理事　　１名
2. 副代表理事　　４名
3. 理事　　１２名
4. 委員　　２３名
5. 事務局長　　？名
6. 監事　　３名

（役員の選任）

第 14 条　　理事は定時総会また臨時総会で選出するもとする。

1. 理事長は理事の互選で決定する。
2. 理事長は理事のなから副理事長を選任するものとする。
3. 副理事長は会員の中から部会の委員を選任する。
4. 理事長および部会長が不在の時は理事会で承認を得て決定された者が、その職務を代行するものとする。
5. 監事役は定時総会また臨時総会で選出するもとする。会計及び当会の健全性を監査するもとする。

（役員の任期）

第 15 条　　役員の任期は２年とする　但し、再任を妨げない

（会議）

第 16 条　　会議の種類は下記の通りとする。

1. 定時総会の開催　毎年２月に実施する。
2. 理事会は定時総会前の 12 月または１月及び総会後の２回とするが、理事長が必要と認めた場合に招集する臨時理事会がある。
3. 運営委員会は定期的に開催するものとする。ただし執行状況により、運営委員からの要請があった場合、理事長、副理事長及び事務局が判断し招集するものとする。
4. 運営委員会の下に舞台部会、照明部会、音響部会、事業部会を設ける。部会の開催は部会独自で決めるものとする。
5. ○○

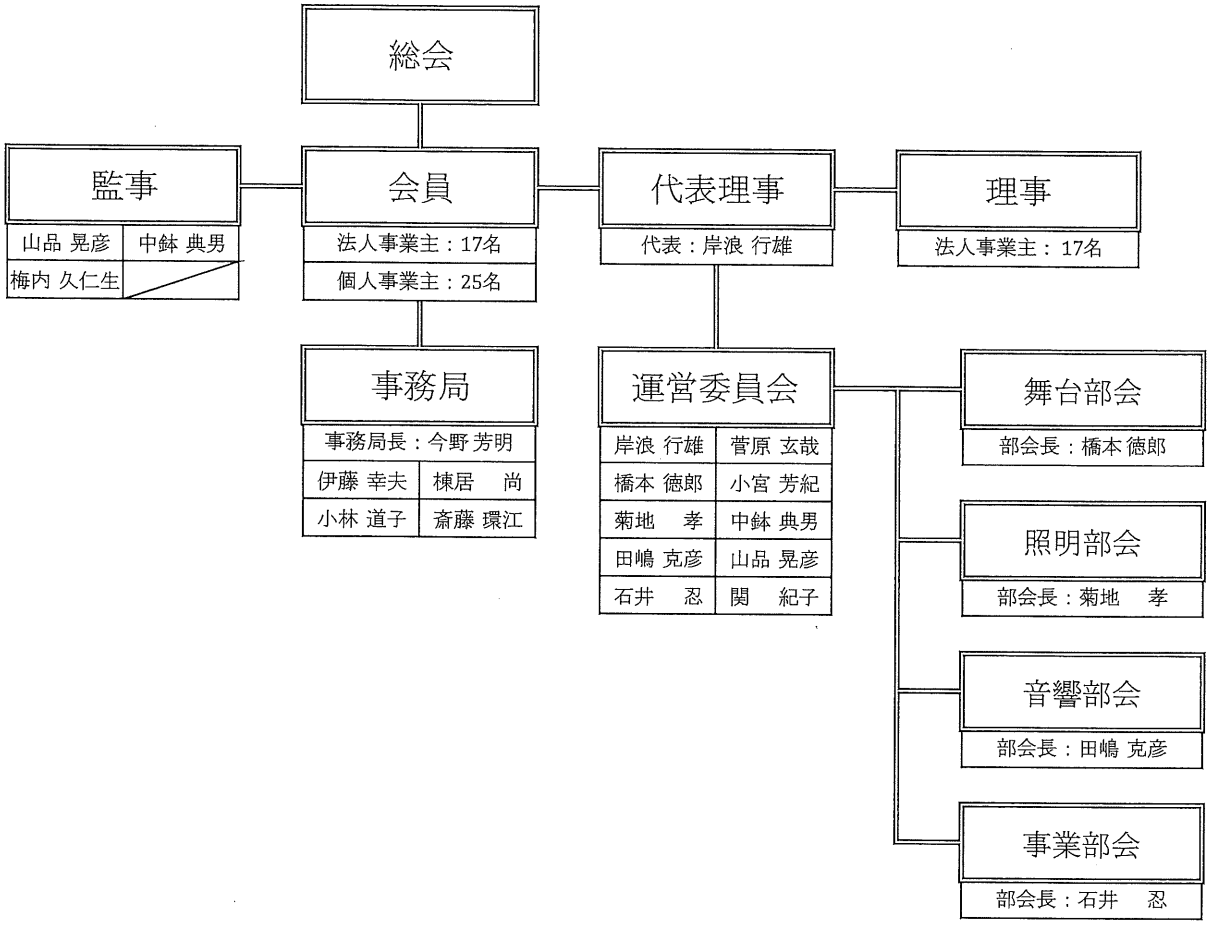
（理事会、運営委員会）

第 17 条

理事は全法人会員が就くものとし、年２回総会前後に開催し事業報告及び事業案の承認の可否を行うものとするが、出席理事の過半数以上の賛同を以って可とする。また、会の成

# 令和3年度　宮城舞台技術者協会　組織図

2021年3月18日現在



# 第３回（第14回）　宮城舞台技術者協会会議　議事録

| | | | |
|---|---|---|---|
| 日時 | 2021 年　3 月　17 日　14 時　00 分 ～　15 時　00 分 | 場所 | 株式会社東北共立　ラボ |
| 議題 | ・令和３年度予算案、支出案について<br>・令和３年度組織案について<br>・令和３年度活動案について | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 出席者 | 村下弘修 | 岸浪行雄、伊藤幸夫 | 菊地孝 | 渋谷昌弘 | 橋本徳郎 |
| | 石井忍、小林道子 | 斎藤豊寿、斎藤環江 | 小宮芳紀 | 菅原玄哉 | 関紀子 |
| | | | | | |
| | | | | | 法人代表者、個人事業主、事務局　13名 |

**決定事項**

■令和３年度予算案、支出案が承認されました

■令和３年度組織案が承認されました。

■令和３年度活動案が承認されました。

〇次回以降の運営委員会、各部会の日程については、後日お知らせ致します。

**会議内容**

■令和３年度予算案、支出案について

岸浪代表より、令和３年度の会費について、令和２年度と同じ金額で運営していきたい旨の説明があり、

昨年度までの支出内容を基に、事務局から支出案の説明をした。→別紙をご確認ください。

→承認された

■令和３年度組織案について

岸浪代表より、令和３年度の運営体制について、5つの部会に分け、活動していきたい旨の説明があり、

石井氏より各部会内容の説明を行った。→別紙をご確認ください。

〇各部会の代表者を部会長とし、部会長が副代表を務める。

〇各部会の活動方針や内容等は、部会ごとに運営委員会に提案し、運営委員会が内容を協議し承認後、実行していく。

〇運営委員会は、代表他、副代表４名、各部会から５名選出し10名で運営していく。

〇この組織とは別に、事務局長１名をおく。

→承認された

■令和３年度活動案について

岸浪代表より、令和３年度の活動案について説明があった。→別紙をご確認ください。

〇来月４月の運営委員会から、部会のあり方等調整していきたい。

→承認された

# 宮城舞台技術者協会資料(案)

**■令和３年度予算案**

**令和3年度収入**　245,000

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| **内訳** | 法人会員 | 17名 | 10,000 | 170,000 |
| | 個人会員 | 25名 | 3,000 | 75,000 |
| | 計 | 42名 | | 245,000 |

| | |
|---|---|
| 令和2年度繰越金　→ | 195,900 |
| 令和3年度収入　→ | 245,000 |
| 合計 | 440,900 |

**令和3年度支出案**

| 項目名 | 令和３年度予算額 | 令和２年度支出額 | 増減額 | 備考欄（令和２年度実績含む） |
|---|---|---|---|---|
| 会議費 | 40,000 | 5,500 | 34,500 | 定例会会場費・暖房費 |
| 広告宣伝費 | 50,000 | 33,000 | 17,000 | 2/2.3ディスプレイ協会　出店費 |
| 旅費交通費 | 30,000 | 22,000 | 8,000 | 8/10スタッフラボ　11名分 |
| 通信費 | 150,000 | 4,022 | 145,978 | 切手代 |
| 租税公課 | 5,000 | 1,000 | 4,000 | 印紙購入費　5枚　代表印 |
| 事務費 | 80,000 | | 80,000 | |
| 消耗品費 | 30,000 | 31,942 | -1,942 | 協会ゴム印、各印、代表印 |
| 支払手数料 | 5,000 | 1,540 | 3,460 | 振込手数料　引出し手数料 |
| 雑費 | 10,000 | 6,896 | 3,104 | 8/26.27劇場へ行こう　補填分 |
| 口座開設費 | 0 | 1,000 | -1,000 | 一時立替精算 |
| 予備費 | 40,900 | | 40,900 | 主に事業費として充当予定 |
| 合計 | 440,900 | 106,900 | 293,100 | |

**■令和3年度組織案**

**運営委員会　会員所属一覧案**　＊敬称略　＊表記順＝順不同

※　部会長は副代表が務める

| **舞　台　部　会** | **6　名** | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **部　会　長** | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 |
| 橋本　徳郎 | 佐野　和永 | 相沢　俊一 | 菅原　玄哉 | 高橋　裕介 | 山品　晃彦 | | | | | | | |
| 株式会社<br>フォーバックス | 株式会社アーツ | 株式会社<br>バックステージ | OFFICE OVER | | THE MODERN<br>WORLD | | | | | | | |

| **照　明　部　会** | **11　名** | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **部　会　長** | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 |
| 菊地　孝 | 村下　弘修 | 渋谷　昌弘 | 斎藤豊寿(代表代理) | 松崎　太郎 | 志賀　智子 | 小野　光司 | 太田　淳也 | 小宮　芳紀 | 丹野　優香 | 横山　尚人 | |
| 株式会社NASS | I・C・Cインターナショナル株式会社 仙台営業所 | 株式会社<br>ピーエムシー | 有限会社<br>ライティングケン | アトリエミセイ | 志賀舞台照明 | FUN LIGHT | | | | | |

| **音　響　部　会** | **22　名** | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **部　会　長** | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 |
| 田嶋　克彦 | 斉藤　浩行 | 濱田　一郎 | 永瀬　博和 | 半田　透 | 永谷　篤彦 | 清水目貴義(代表代理) | 明石　学 | 荒井　豪 | 國分　秀昭 | 本儀　拓 | 佐藤　ヒロユキ |
| 有限会社T・J・M | 有限会社<br>コントライブ | 有限会社<br>サウンドデザイン | 有限会社<br>サウンドプラス | 株式会社<br>ステージクルー | 株式会社<br>ステージワーカー | 有限会社<br>パラダイスプロ | atsound | エーライン | HK custom<br>works | キーウィサウンド<br>ワークス | GROOVE<br>COUNCIL |
| | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | |
| | 大久保　学 | 中鉢　典男 | 武藤　映 | 鈴木　洋行 | 棟居　尚 | 梅内　久仁生 | 長尾　恵吉 | 大高　いずみ | 関　紀子 | 高橋　慶 | |
| | GET TOUGH | differ | .FREE | ドレミハウス | ムネスエ音響 | メイサウンド | フリーライン | | | | |

| **事業(SDGS)部会** | **4　名** | ※SDGS(注)参照 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **部　会　長** | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 |
| 石井　忍 | 岸浪　行雄 | 菊地　孝 | 山品　晃彦 | | | | | | | | |
| 有限会社<br>舞台監督工房 | 株式会社東北共立 | 株式会社NASS | THE MODERN<br>WORLD | | | | | | | | |
| **女性部会[仮称]** | **名** | | | | | | | | | | |
| **部　会　長** | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 | 委　員 |
| 関　紀子 | 志賀　智子 | 丹野　優香 | 大高　いずみ | | | | | | | | |
| | 志賀舞台照明 | | | | | | | | | | |

**■令和3年度組織案**

| **運営委員会** | **10　名** | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 法人 | 岸浪　行雄 | 橋本　徳郎 | 菊地　孝 | 田嶋　克彦 | 石井　忍 |
| | 株式会社東北共立 | 株式会社<br>フォーバックス | 株式会社NASS | 有限会社T・J・M | 有限会社<br>舞台監督工房 |
| 個人 | 菅原　玄哉 | 小宮　芳紀 | 中鉢　典男 | 山品　晃彦 | 関　紀子 |
| | OFFICE OVER | | differ | THE MODERN<br>WORLD | |

| 代表理事 | 副代表 | 副代表 | 副代表 | 副代表 |
|---|---|---|---|---|
| 岸浪　行雄 | 橋本　徳郎 | 菊地　孝 | 田嶋　克彦 | 石井　忍 |
| **監事** | **監事** | **監事** | **事務局長** | |
| 山品　晃彦 | 梅内　久仁生 | 中鉢　典男 | 今野　芳明 | |

| **事　務　局** | **5　名** | | | |
|---|---|---|---|---|
| **事　務　局　長** | 局　員 | 局　員 | 局　員 | 局　員 |
| 今野　芳明 | 棟居　尚 | 伊藤　幸夫 | 小林　道子 | 斎藤　環江 |
| ファクトリー・K<br>株式会社 | ムネスエ音響 | 株式会社東北共立 | 有限会社<br>舞台監督工房 | 有限会社<br>ライティングケン |

① 部会活動の方針は部会ごとに運営委員会に提案する。
② 運営委員会は内容を協議し承認後に、臨時総会で令和3年度承認を得る。
※ 定款見直し、運営方法、会費等は令和4年2月の定時総会の議題とし、是非の判断を得る。
※ 理事を法人、個人関係なく就任してもらう
③ 会員交流→連携の強化

(注) **SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは**「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。
2015年9月の国連サミットで採択された、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。
17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

| | | |
|---|---|---|
| 1.貧困をなくそう | 7.エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 13.気候変動に具体的な対策を |
| 2.飢餓をゼロに | 8.働きがいも経済成長も | 14.海の豊かさを守ろう |
| 3.全ての人に健康と福祉を | 9.産業と技術革新の基盤をつくろう | 15.陸の豊かさを守ろう |
| 4.質の高い教育をみんなに | 10.人や国の不平等をなくそう | 16.平和と公正を全ての人に |
| 5.ジェンダー平等を実現しよう | 11.住み続けられるまちづくりを | 17.パートナーシップで目標を達成しよう |
| 6.安全な水とトイレを世界中に | 12.作る責任つかう責任 | |

**■令和３年度活動案**

| １月 | ２月 | ３月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第１回 定例会 | 総会 | 第３回 定例会 | 運営委員会 ① | | 運営委員会 ② | | | 運営委員会 ③ | | | 運営委員会 ④ |
| 理事会 | 第２回 定例会 | | | 部会活動案 | | | | | | | 会員懇親会 |
| | | | ディスプレイ協会<br>卸町サンフェスタ | | 各部会毎の<br>部会活動 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

① 舞台安全管理→高所作業（足場、ハーネス）、仮設電源取扱
② 舞台技術（照明、音響、舞台）の安全講習会
③ 働き方改革の講習等
④ 社会貢献→小学校への出前授業